



Akita City
Cultural Creation Center

Annual Report 2023

秋田市文化創造館
アニュアルレポート2023



3年間で振り返って

これまで、新しい文化創造の発生の現場に立ち会ったことはありますか？ その瞬間は「なんだこりゃ!?!」という戸惑いだったかもしれません。しかし、時間が経つにつれ、そのイメージが流通し、多くの人が当たり前のようにそれを享受するようになります。数十年も経つとそれは地域文化を代表するものになっているので驚きます。



では、新しい活動が発生する条件とは何でしょう。実現が許される機会や場所があること。許してくれる人、支える人がいること。一緒に楽しみたい人が集まってくることなのかもしれません。逆に、許される状況が無く、規則で行動が制約され、余計な活動を「無駄なこと」と無視され、孤立させる状況があるとすれば、そこから新しい活動は期待できません。伝統文化や現在の信念を守ろうとするとき、この状況が発生する危険性があります。そして、孤立した都市の中で暮らす私たちの環境はこのような生きづらい状況になっているのかもしれません。

過去の長い年月、試行錯誤が幾重にも重ねられ、人々の情熱に支えられ受け継がれてきた結果として文化芸術の価値はあります。それに対して文化創造は、これからの未知の価値に向けたプロセスの重なりです。つくろうとする態度と、濃密な時間の重なりそのものに価値があります。成功という圧力に縛られるのではなく、柔軟性を持って失敗を重ね、次の課題に辿り着けることの方が意味深いのです。文化創造は一人の深い理解者と出会い、次の活動へ繋がる方法が見つかることが重要です。そこから新しい活動が展開することが素晴らしい奇跡だと思うのです。

秋田市文化創造館が開館して3年。ここは許される場になっていましたか？ 様々な試作の場として開かれていましたか？ 支えてくれる人とコンタクトできる多くの機会がありましたか？ 難しいアイデアを実現しようと試行錯誤できましたか？ そして文化創造の発生の現場に立ち会うという素晴らしい奇跡の時間を楽しむことができましたか？

秋田市文化創造館は秋田の未知の未来の活動の拠点でありたいと願っています。ぜひ、文化創造の奇跡の瞬間に立ち会っていただきたいと思います。皆様の登場をお待ちしております。

藤 浩志（秋田市文化創造館 館長、美術家）

6つの基本方針

秋田市文化創造館は、秋田に暮らす人のために、自分らしい表現を探す人のために、新しい活動を生み出す拠点です。多様な文化活動との出会いの場を提供するとともに、自ら創作活動を行う方、新たな活動をはじめようとする方々を応援します。

1 空間の提供

すべての人に
開かれた環境をつくる

魅力的な建築空間を活かして、休憩の場として、創造の場として、様々な用途に活用できる環境をつくります。

2 機会の提供

創造力を養う出会いの
機会をつくる

背景や価値観の異なる人が集まり、ともに創り、交流し、学び合うことで、新たな知識や視点に出会う場をつくります。

3 創造支援事業

日常に息づく創造力を
発揮する活動を支援する

利用者やクリエイターのアイデアの実現や発表、情報発信を文化創造館のコーディネーターがサポートします。

4 創造実験事業

創造力を刺激する
実験的事業をおこなう

多様な分野の専門家を招いたイベントや、クリエイターと協働した実験的なプロジェクトなどにより、市民の創造力を刺激します。

5 地域連携

創造力を秋田の
まちにひろげる

近隣の歴史・文化施設、商業施設や施設外のエリア、他分野の事業とも連携します。アイデアや企画を地域に開くことで新たな価値を生み出し、未来の文化を創造する力を秋田のまち全体にひろげます。

6 情報発信・アーカイブ

活動の過程と成果を
発信しアーカイブする

ウェブサイトや刊行物などを通じて文化創造館の活動を記録・発信します。また、全国各地で文化創造を試みる人たちと情報共有し、よりよい施設運営に活かしていきます。

～になるためのトライアル / Trial:to become a *****

創造館では「～になる」をテーマとしたプロジェクトを開催。「人間以外の種と交わりながら生きる術」を学ぶトークイベントやダンサー・アーティストのAokidさんと新しい身体の使い方・街での過ごし方を発見するワークショップ、また創造館に集まった「なりたいたいもの / やめたいこと」を叶えるための様々な実験を行いました。



「なりたいたいもの / やめたいこと」を集め分類したカード

自分を取り巻くものを見つめ、実験を編み出し、試し、また見つめなおして、というサイクルが創造館内外のあちこちで行われました。参加していた人も見ていた人も、「いつもと違う新しい〇〇」の予感を感じる機会となったのではないのでしょうか。頭と身体を柔らかく、動きは軽やかに。



◀プロジェクトページ



館外でも様々な人に「なりたいたいもの / やめたいこと」を聞く



「立派な大人になる」ための座禅



「人気者になる」ための藤キング相談会



「人間的なふるまいをやめる」ためのクラブイベント



「いろいろな料理を作れるようになる」ための料理会



『読んで書く、冬の1DAYワークショップ』

クリエイター・イン・レジデンス

Aokidプロジェクト「あととた」 / JAPAN LIVE YELL project 参画事業

Aokidはブレイクダンスをルーツに持つダンサーです。この度の招聘では、秋田に暮らす人々やダンサーと協働し、ワークショップや公演を作り上げました。12月にはスタジオA1を「あつまる」場所として開放。舞台美術の制作や歌を歌ったり、様々な人が訪れました。そして、そんな人々が残したものが集積された空間で、大発表会「うあー」を開催しました。2024年2月にはミルハスを会場に、チーム「あととた」として、観客を巻き込む実験的なパフォーマンスを発表。プロジェクト終了後も、秋田で暮らすメンバーが自主的にパフォーマンスイベントを企画するなど、今後も活動が続いていくようです。

Aokidプロジェクトページ▼

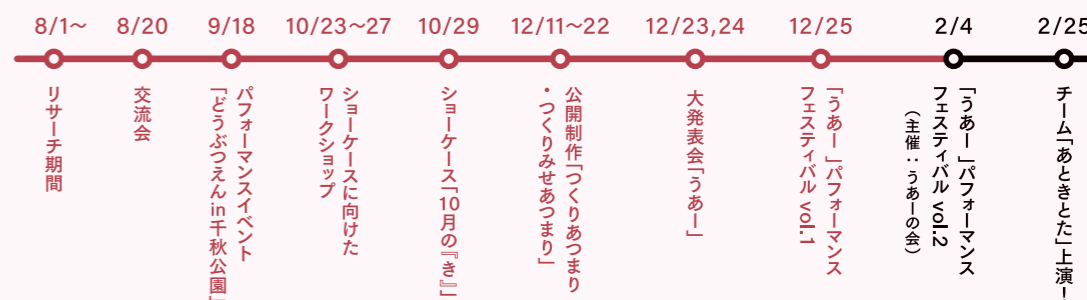


プロジェクト期間 | 2023年8月1日(火)～2023年12月25日(月)

主催：『ジャパン・ライブエール・プロジェクト in あきた』実行委員会、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 / 企画制作：NPO 法人アーツセンターあきた / 助成：文化庁文化芸術振興費補助金（統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業（アートキャラバン2）） 独立行政法人日本芸術文化振興会 / 事業名：JAPAN LIVE YELL project



スケジュール



「どうぶつえん in 千秋公園」



「10月の『き』」



大発表会「うあー」



チーム「あととた」上演！



クリエイターコメント

ゆるやかな入口、構え、つながりが人と人や人とモノとの間にあり、それらがストレッチし合いながら千切れたりすることなく気候の変化も習慣的に耐え凌いで応えていった集合体の発表があったんだと経験されました。(Aokid/ダンサー・アーティスト)

未来の生活を考えるスクール

新しい知識・視点に出会い、今よりちょっと先の生活を考えるレクチャーシリーズ



トークレポートはウェブサイトでご覧いただけます

第11回 「病いと祈り」

開催日時 | 2023年5月20日(土) 14:00~17:30

登壇者：光永 惇(映画監督)、小倉 拓也(哲学・思想史研究者、秋田大学教育文化学部准教授)

「寛解」とは、病気の症状や徴候が一時的に軽快した状態、あるいは見かけ上消滅して正常な機能に戻った状態のこと。映画『寛解の連続』は、躁鬱状態にありつつ独自の活動を展開する神戸市出身のrapper・小林勝行の生の記録です。本作品の監督である光永惇さんと、哲学・思想史研究者の小倉拓也さんをゲストに迎え、映画上映と上映後にトークを行いました。



第12回 「障害とまちづくりと表現」

開催日時 | 2023年6月17日(土) 14:00~15:30

登壇者：久保田 翠(NPO法人クリエイティブサポートレッツ 理事長)、ササキ ユーイチ(NPO法人クリエイティブサポートレッツ スタッフ)

特別な人がつくる表現ではなく、誰もが持つ自分を表す力・行為こそを文化創造の軸ととらえる『「表現未満」プロジェクト』、重度知的障害のある「たけし」と一緒にまちで暮らすことを考える「たけしと生活研究会」など、クリエイティブサポートレッツの多様な取り組みから、障害福祉・アート・まちづくりの分ちがたい関係についてお聞きしました。



第13回 アニマルズ、ヒューマンズ、アスレチック「聴く、考える」

開催日時 | 2023年8月19日(土) 14:00~17:00

登壇者：山口 未花子(人類学者、北海道大学文学研究院准教授)、山川 冬樹(美術家、ホーメイ歌手、秋田公立美術大学准教授)、石倉 敏明(芸術人類学者、神話学者、秋田公立美術大学准教授)

「人間以外の種と交わりながら生きる術」について考えるトークイベントを開催。狩猟や歌、踊りなど、様々な形で人と動物が関係し合う事例の紹介や、日々の暮らしの中でも自然や環境に周波数を合わせて過ごす実践について話されました。トーク後には、人間以外の生き物になりきって対話するワークショップを行いました。



第14回 アニマルズ、ヒューマンズ、アスレチック「見る、動く」

開催日時 | 2023年9月17日(日) 14:00~16:30

登壇者：Aokid(ダンサー、アーティスト)

ダンサーのAokidさんによる声や歌、イラストなどを織り交ぜたパフォーマンスからはじまり、その流れのままスライド写真や動画を持ったレクチャーへ。その後のワークショップでは、皆で声を出したり、箱を叩いたり、Aokidさんの指揮で踊ったりと、いきいきとしている姿が印象的でした。数時間で参加者の皆さんの表現の可能性を探り、開いて行く様子がみられました。



クロストーク「まれびと／風土／日本海」

開催日時 | 2024年1月14日(日) 14:00~17:00

登壇者：石川 直樹(写真家)、伊藤 俊治(美術家、東京藝術大学名誉教授)

石川さんは1月に撮影した「大日堂舞楽」や「アマハゲ」、日本各地の「来訪神行事」や写真集『奥能登半島』について語り、伊藤さんは折口信夫の「まれびと」と論を契機に、異文化を受け入れてきた秋田の風土を分析しました。



トーク「活きる建築」

開催日時 | 2024年2月24日(土) 14:00~15:30

登壇者：五十嵐 太郎(建築史家、東北大学大学院教授)、田中 元子(株式会社グランドレベル代表取締役)

五十嵐さんによる創造館の建物の持つ魅力や文化施設の活用事例のお話、「喫茶ランドリー」など多様な実践を行ってきた田中さんのお話から、創造館やまちの可能性を探りました。



カタルバー

カタルバーは、誰かと語り合うだけのバーです。ゆるやかに語り合える場“やってみたいこと”を試してみる場として開いています。



はじまって2年目となる今年は、95件(※2023年2月時点)のカタルバーが創造館のあちこちで開店。店主も参加者もリピーターが多い傾向にありました。また、今年度からの新たな試みとして創造館を飛び出し、市内様々な場所で実施する「出張カタルバー」も行いました。

【これまでにあった1日店主のカタルバー】

朝のハーブティーカフェ(店主|あおいすがやん)、審神者さんと語りたい(店主|すかい)、好きなまんが(とか)沼へようこそ(店主|ボン酢たろう&数&ひがし)、“モノ”ガタルバー(店主|真坂 雅)、いろんなうつわでコーヒーを飲む会(店主|交点)、喫茶店の名前を一緒に考えてください(店主|しゅうすけ)、未来(ゆめ)をカタルバー(店主|カズシ)、和風を楽しもう(店主|さくらの)、ほろ酔い、ポッチャ・バー(店主|have a blast)、みんなはどうやってひとと分かってるのか教えてね(店主|なっちゃん)、Enjoy MAGIC!(店主|ケロびんズ)、ここがへんだよ、秋田の教育!(店主|ササキ)、落語について語り合えよう!(店主|Kikumaru)、『ころのふるさと』つながりの物語シェア会(店主|エイ君)、あなたの知らないごてんまりの世界(店主|ゆりてまり)、ミニチュアのちいさな展覧会(店主|ナカモケイテン)、モンテッソーリ教育のおもちゃで遊ぶ(あえて大人向け)(店主|モンテッソーリ教師きよのゆきや)、ブルーシートを着て息苦しさを語りませんか(店主|銅ふたる)、こんな節約やってみたら持ち寄り会0.1(店主|しょ〜ち)、昭和59年生まれ、集まれー!(店主|しばた)、ハイ・ファンタジーの世界を、いちから創ってみませんか!(店主|きんぎょ)、親の介護あなたはどの向き合ってますか?(向き合いますか?)(店主|matsumin)、京都から来た謎のダンサー犬dogg!!お前はいったい何者なんだ!?(店主|田中 太郎 aka 犬dogg) etc.

あなたもカタルバーをやってみませんか?

条件

- ① テーマは店主の自由
- ② 利用時間は1時間(前後30分で準備と片付け)
- ③ 日時は店主の希望を聞き取り、館内の予定と調整して決定
- ④ 営利目的での利用はNG



お申し込みは創造館総合案内もしくはお申し込みフォームから▶



担当スタッフによるコラム

創造館の空きスペースを活用し「転んでも痛くない」くらいの規模感で気軽に始められる「語る場」としてはじまったカタルバー。2年目に突入り、カタルバーの店主同士で新しいカタルバーを企画したり、カタルバーを卒業して自主企画を開催したりと、「カタルバーをきっかけにいろんな展開が生まれたらいいな」と想像していたことが少しずつ現実になってきました。もしかすると、私が思ってもいなかった展開が生まれてくるかも?!とワクワク・ドキドキしている今日この頃です。これからも展開が生まれる余白のある「語る場」を店主のみなさんと一緒に育てていけたらいいなと思っています。

何かに挑戦してみたい個人・団体を応援する「活動支援事業」

寄せられた相談に対してアイデアを実現するために「まず、はじめてみること」や「創造館で何ができるか？」を話し合うところからスタートします。月1回の審査会にて支援内容を協議し、企画の実現に向けてコーディネーターのサポートや広報協力、利用料の減免、時には創造館以外の施設での実施を促すなど、館内での活動に留まらない活動支援を行いました。今年度は25件の申請・相談があり(2024年1月末日現在)、そのうち7件を活動支援事業としてサポートしました。

そうだん窓口

創造館の使い方や、創造館を拠点にやってみたいこと、実現したい企画・アイデアについてなど、お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。



ご来館の他、メールや電話での
ご相談も承ります。

(ご予約をいただけますとよりスムーズ
にご案内できます)

ご相談フォーム
はこちら▶



ミックスジュース | 子三朗フェス VOL.1+VOL.2



まずはやってみることが大事。見守りに徹するのも支援の形

“若者の興味の幅を広げ、夢をもって主体的な行動を起こすきっかけづくり”を目的とした、高校生チームが主催する高校生のための交流イベントの実施。「音楽・アート・古着」のジャンルを越えた双方向性のあるコンテンツをもとに交流の機会を創出しました。2023年8月はバンドセットによるライブ、2024年1月にはアコースティックライブを実施。スタッフとして来場者が集まりやすくなるステージ配置についてアドバイスを行いました。

- 2023年3月 ◯ イベント開催にむけた活動支援の相談をする
- 4月 ◯ 審査会にて支援内容の決定を受ける
- 8月 ◯ 「子三朗フェスVOL.1」開催
- 11月 ◯ 利用してみでの改善点、コンセプトをブラッシュアップ
- 2024年1月 ◯ 「子三朗フェスVOL.2」開催

AKITA “KARA” | あきたデザインゼミ2023



創造館に集まる秋田のリソースの紹介や仲介を行う

見慣れた秋田をデザインの視点で捉えなおしてみることを目的とした実践的プログラム。秋田のひと・もの・ことをリサーチし、1冊の本にまとめるワークを全3回のゼミとして実施しました。集まった17名のゼミ生は、リサーチや編集を実践で学び、創造館のスタッフからもコンテンツのリソース紹介や仲介のサポートを行いました。

- 2023年6月 ◯ 開催にあたり協働の相談をする
- 9月 ◯ 審査会にて支援内容の決定を受ける
- 10月 ◯ ゼミメンバー募集開始(カタルバーや活動紹介展示などで活動趣旨の周知や検討を行う)
- 11月 ◯ ゼミ1回目開催:デザインレクチャー・「となりの人図鑑」を作るワーク「ひと」「もの」「こと」のチームに分かれてリサーチ
- 12月 ◯ ゼミ2回目開催:各チームのリサーチ報告と意見交換
- 2024年1月 ◯ ゼミ3回目開催:各ページの原稿作成・写真の撮り方レクチャーなど冊子制作に向けてリサーチやヒアリングなど継続してグループワークを実施
- 3月 ◯ 報告会開催(予定)

trunk | trunk 2023年度プロジェクト



創造館の空間を最大限に使ってもらうための伴走を行う

“秋田でジェンダーを考えることの敷居を下げる”という目的のもと、創造館の1階コミュニティスペースを利用した、定期的なお話会やトークイベント・書籍の紹介展示などを実施。参加者にとって心理的に安全な場でありたいという主催者の思いを尊重し、他イベントと干渉の調整や施設利用に関するアドバイスなどを行いました。

- 2023年3月 ◯ 展示会・イベント開催にむけた活動支援の相談をする
- 4月 ◯ 審査会にて支援内容の決定を受ける
- 6月 ◯ 「性とジェンダーのお話会」実施
- 9月 ◯ 「性とジェンダーのお話会」実施
- 10-11月 ◯ 展示イベントへ向けての打ち合わせ・会場確認
- 11月 ◯ 展示会「例えば(天気の話をするように痛みについて話せば)2023」開催

全日本積穂俳画協会秋田教室 | 第39回 俳画作品展



開館当初から創造館のパートナー団体として例年展示を開催。自立に向けての3年目

俳画の魅力を広く知ってもらうことを目的に2021年から創造館の1階コミュニティスペースを会場とした展示会を実施。今年度は、「魅せ方の底上げ」を目指し、アーティストとして活動する大平真子氏を外部アドバイザーとしてむかえ、第三者視点での展示計画のアドバイス・サポートを行いました。

- 2021年～ ◯ 創造館のパートナー団体として、伴走型支援を受ける
- 2023年2月 ◯ 審査会にて支援内容の決定を受ける
- 5-6月 ◯ 今年度の目標を検討・確認/大平氏に打診・相談
- 8-9月 ◯ 描く過程を定点で捉えた映像の撮影・編集展示作品制作
- 10月 ◯ 展示会「第39回 俳画作品展」開催

土方巽記念秋田舞踏会 | 土方巽没後37年 - 秋田から土方巽を偲ぶ



活動に賛同する仲間あつめや、団体の振り返りのためのサポート

土方巽記念秋田舞踏会は、「舞踏家・土方巽」を生んだ秋田の風土を再評価するための研究や公演などを行う団体。2021年度から創造館を会場に上演を行ってきました。2023年度はこれまでの活動を振り返る場を開催しました。

- 2021年～ ◯ 創造館のパートナー団体として、伴走型支援を受ける
- 2023年2月 ◯ 審査会にて支援内容の決定を受ける
- 2023年8月 ◯ 「久保田城下おどり旅」開催
- 2024年1月 ◯ 「土方巽没後37年-秋田から土方巽を偲ぶ」開催

須田こなみ | あなたに贈る写真展



初めての個人展示会の実施サポート

秋田市を拠点とし、県全域でファミリーフォトなどの出張撮影を行う須田こなみ氏による、これまで依頼された方への感謝を伝えること、出張写真の良さを広めることを目的とした個展の開催。空間構成として展示の主役は写真に写る方々であることや大切な節目に写真として残すことの良さが伝わるように、チラシ制作・展示計画、会場設営方法に関するアドバイスを行いました。

- 2023年10月 ◯ 展示会開催にむけた活動支援の相談をする
- 12月 ◯ 審査会にて支援内容の決定を受ける
- 12-1月 ◯ 展示プラン・会場の使い方についての相談・検討
- 1-2月 ◯ 展示計画の実験を行う
- 2024年3月 ◯ 「あなたに贈る写真展」開催

地域団体 × 創造館の協働事業

ネオ☆レトロ盆踊り大会

2021年度のパートナー事業公募をきっかけに立ち上がった「酒泡酒泡クラブ」による「大盆踊り大会」は、年を重ねるごとにに関わる人が増え、3年目となる今年度はアーティストのにしかわshow子と「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」秋田Orchest-Labが加わり、創造館の共催事業として「ネオ☆レトロ盆踊り大会」を開催しました。盆踊り部、美術部、音楽部としてそれぞれ本番の11月まで定期的にワークショップなどを行いながらメンバー募集し、地域の新たなコミュニティづくりを目指しました。おもしろいこと・楽しいこと・踊りとお酒が好きなメンバーで結成した「酒泡酒泡クラブ」が“いつか八橋の陸上競技場にTRFを呼んで盆踊り大会をやりたい!”という強い熱意で駆け抜けてきた3年間。創造館のおまつりとして定着しつつあるこの活動の今後の展開を乞うご期待。



「ネオ☆レトロ盆踊り大会」(2023年度)

開催日時 | 2023年11月11日(土) 11:30~18:00

主催：秋田ネオまつり部(酒泡酒泡クラブ、にしかわshow子、「エレクトロニコス・ファンタスティコス！」秋田Orchest-Lab) / 共催：秋田市文化創造館 / 協力：エレクトロニコス・ファンタスティコス!、西馬音内盆踊り愛好会 灯乃会、藤スタジオ / 後援：秋田市

当日までの流れ



忘年会と盆踊りを掛け合わせた「大忘踊り大会」(2021年度)



「であえ!百鬼夜行盆踊り大会」(2022年度)



「音楽部」活動紹介・公開練習会の様子(2023年度)

あそびのはじまり 2023

“あそび”の中で、子どもたちのクリエイティブな感性を育む体験イベント。五感を刺激し、探究心や好奇心・創造力の芽を伸ばす良質な“あそび”を提供している、あそびのはじまり実行委員会のメンバーと協働し、大人も子どももどなたでも参加できる場を目指して開催しました。

開催期間 | 2023年9月30日(土)~10月1日(日)

主催：あそびのはじまり実行委員会 / 共催：秋田市文化創造館 / 協賛：いなみ小児科ファミリークリニック、北都銀行秋田西支店 / 後援：秋田市教育委員会、ハラッパ AFTER SCHOOL / 協力：秋田公立美術大学・秋田市立中央図書館明徳館 / 助成：令和5年度 秋田市地域づくり交付金事業 / プロデュース：PLAY+TOYS のはらむら



ABS秋田放送の酒井美耶アナウンサーによる絵本の読み聞かせ



おもちゃとあそびのひろば



紙飛行機ワークショップ



シンガーソングライター大木彩乃さんとトイ楽器奏者の良原リエさんによる親子で楽しむ音楽ワークショップ

フリー・オープン・デイ 2024

みんなでつくる年に1度の創造館のおまつりです。今年度行われてきたプロジェクトに関する催しや、おとなりのあきた芸術劇場ミルハスと連携したプログラムに加え、創造館を利用している方やそうでない方も含め、“みんなでつくる”をテーマに様々な取り組みを行った2日間となりました。



開催日時 | 2024年2月24日(土)~25日(日) 11:00~18:00

●チャレンジマーケット

やってみたいことにチャレンジできるマーケット。イベントに出店したことがある方もない方も、また普段から創造館で活動していることをマーケットでやってみようなど、チャレンジの形は様々。一般公募で集まった57のユニークなブースが創造館の館内に並びました!



オノアサミ/トートバッグやステッカーなどオリジナルグッズ販売



ハラッパキッズストア(ハラッパキッズ)/子どもの手作り雑貨販売や紙芝居屋さんなど



まえむき、(ワジマケイスケ)/ほぼ自然栽培で野菜作りと加工品製造を行う。今回は自家製メンマなどの販売



まじかる♡あいむ(Aimi)/自作のグッズ販売



まちナカモケイテン-ペイント体験会-(ナカモケイテン)/店主レクチャーや作品展示販売



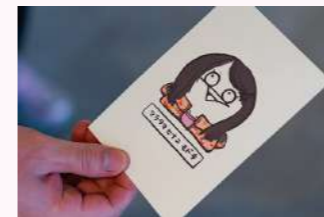
喫茶ぼらりす(げんちゃん)/架空の純喫茶



古道具きりこ/古道具・端切れやハンドメイドニットなど販売



出張おはなしとどけ!/読み聞かせや人形劇、古本販売など



人類シタマ化計画(キョエ)/『シタマキエド』の顔で似顔絵ならぬ似タマ絵を描く



武藤工芸 武藤工芸 武藤工芸 / ホットサンドの販売と焼印を押す体験コーナー



本を、あいだに。Vol.0(雨晴文庫)/本と人がつながり・本で人と人がつながる時間・空間づくりを模索中



木のアクセサリ一日と月(工藤明日香)/職人さんより譲ってもらった端材を使用したアクセサリを制作・販売

●ハジマルシェ 第2回『〇 HAJIMARU横丁』同時開催

〇 HAJIMARUのちいさなマルシェ=ハジマルシェ。今回のテーマである「お酒」「お酒が醸す場所」にちなんで、日替り店主のこだわりの一品が楽しめる「期間限定!角打ち酒場」が出現。来場者が自然と集い、参加した催しや料理についてなど、参加者同士の交流の場が創出されました。



使い方いろいろ！スペース貸し出しもしています！

多様な文化活動との出会いの機会を提供すると共に、創造活動を行う方や新たな活動をはじめようとする方々を応援しています。展示や講演会はもちろん、練習場所やサークル活動、お話し会など、様々な用途にご利用いただけます。

スタジオA (2階・3階)

旧県立美術館時代に藤田嗣治の「秋田の行事」が飾られていた館を象徴する大空間のスタジオA1、暗室としても利用できるシンク付きのスタジオA2、ぐるりと回廊空間となっているスタジオA3で構成されています。



心魂ミュージカル「OUR STORY 特別版 秋田公演」
(スタジオA1)



秋田県いけばな作家協会 創立70周年記念いけばな展 (スタジオA1)



きょうだいのじかん
(スタジオA1、A3)



児童生徒作品展
(スタジオA2)



国際開発学会第24回春季大会 (スタジオA3)

スタジオB (2階)

壁面を自由に造作することができ、多様な演出ができます。



熊谷忠浩写真展「あきたの猫」



秋田市芸術祭 合同茶会

デッキ・屋外エリア

道路からもアクセスしやすく、散策途中の休憩にも使用できます。



ウクレレ交流会



極寒焼肉

コミュニティスペース (1階)

自然光が差し込む、開放的で気軽に立ち寄りやすい空間です。



フェルトメーキング



1㎡で何しようプロジェクト



Chamber Jazz Laboratory
ジャズライブ

館の多様な活用方法を利用者とともに探求する試み

オープンスタジオ

かつて藤田嗣治の「秋田の行事」が展示されていたスタジオAの吹き抜け空間を制作スタジオとして利用する試み。吊りバトンを利用したアート作品の制作活動や物販、参加型の制作などが行われました。



「おおだいらまこ → ハッピーライフ」



珈琲漂流vol.1 ～初めまして秋田1年生です。一緒におしゃべりしませんか？～

ヨルカツ

屋外空間の夜間の活動のための無料開放「ヨルカツ」を、7月～9月にかけて期間限定で行いました。



スケートボード「開放日」

フリーキッチンの日

キッチンスペースを無料開放し、設備の使い勝手やスペースの活用方法について実践しました。



「親子deクッキング ピザ&スイーツ作り」

音の日

“音”にまつわる活動のための施設無料開放日「音の日」を4月29日に開催。創造館の各所で“音”にまつわる活動が集まりました。



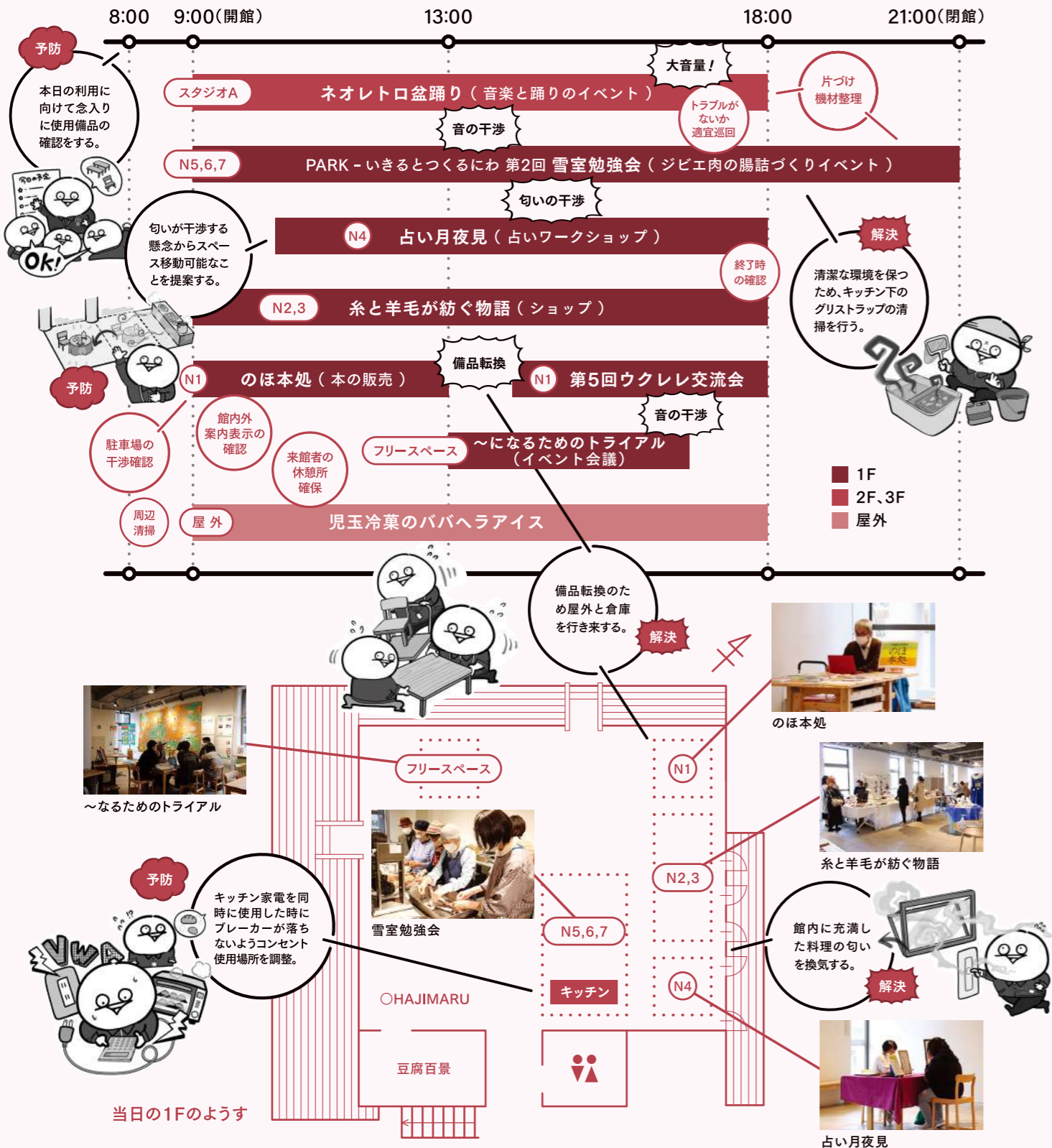
リソの日

創造館にあるリソグラフ印刷機を使って期間限定の印刷所を開設。参加者が印刷したい原稿を持ち込んで自由に印刷できる有料プログラムです。スタッフが印刷についてのレクチャーや印刷したものの活用相談にも応じました。オリジナルのカレンダー、ZINE、小冊子、チラシなど参加者それぞれの印刷したいものを持参し印刷しました。



創造館の裏側 とある一日のコーディネーターのうごき (2023年11月11日(土)の場合)

創造館は多様な活動を実現できる場所ですが、機能や空間に制限があるなど、時には利用に際して知恵と工夫が必要です。そこに必要なのがコーディネーターです。館内で行われる様々な活動の調整役として、利用相談に応じたり、使用備品(什器・機材)を運搬したり、仕切りが少ないスペース内の干渉を最小限に抑える工夫をしています。この日は全館で8件のイベントが開催。音楽イベントや料理会、会議利用など賑やかな1日となりました。



情報発信・アーカイブ

創造館で行われる様々な事業の告知にとどまらず、秋田に暮らす人々の魅力的な活動の紹介などを通して、新たな活動のはじまりの応援となるような発信を試みました。また、実施した事業を記録し残すことも活動の一環として取り組んでいます。

1) 紙媒体での発信

- 情報紙「そうする?」発行(半期に一度)
スタッフや招聘クリエイターによる事業のレポートや、秋田の魅力を伝える連載などを交えた情報紙です。
- イベントカレンダー発行(毎月)
- アニュアルレポート発行(年度末)



「そうする? 5号」



「そうする? 6号」



イベントカレンダー-3月

2) ウェブサイト、SNSでの発信

インタビューなどの連載記事やイベントレポートを掲載しています

● 連載「秋田の人々」



「矢留彫金工房」
小林 美穂さん
松橋 とし子さん
高橋 香澄さん



「旧松倉家住宅」
スタッフ 平元 美沙緒さん



「Little A」
デザイナー・ディレクター
鎌田 あかねさん



「烏天狗」
店主 甲野 隆紀さん



「上米町一丁目竿燈会」
代表 貴志 冬樹さん



「YukariRo 編集部」
三谷 葵さん
高橋 希さん

● SNS



X (旧Twitter)



Instagram



Facebook



YouTube

● インタビュー連載「あこがれのひと」

3) 2023年度プレスリリース配信、メディア掲載実績

- プレスリリース配信件数：17件
- メディア掲載件数：84件

※一般利用の掲載分は省略
(2024年3月11日現在)

周辺施設との連携「おとなりさんプロジェクト」

エリア一帯を盛り上げることを目的に、周辺施設と日常的な情報交換を行っています。また、今年度は周辺マップの作成やイベントの同時開催などにも取り組みました。

●フリー・オープン・デイ 同時開催

2月25日には、あきた芸術劇場ミルハスと連携し、「フリー・オープン・デイ」を同時開催。それぞれの主催企画に加えて、創造館で立ちあげたプロジェクトの成果をミルハスで発表するなど、各館の特性を活かした連携が行われました。



アウトクロップ映画「おかえり有楽町」上映

プロジェクト「PARK-いきるとつくるのにわ」の一環として、アウトクロップ・スタジオが制作したドキュメンタリー映画『おかえり有楽町』の上映とトークを行いました。

日時 | 2月25日(日) 14:00~15:30
会場 | ミルハス 中ホール



チーム「あととと」上演!

「Aokidプロジェクト」で立ち上がったチーム「あととと」とダンサーAokidによる成果発表を再構成して上演しました。

日時 | 2月25日(日) 16:00~17:30
会場 | ミルハス 中ホール



●シアターカフェC's × 豆腐百景コラボメニュー

ミルハス内の「シアターカフェC's」と創造館内のカフェ「豆腐百景」のコラボメニューが期間限定で登場!

●4館巡るスタンプラリーマップ

あきた芸術劇場ミルハス、秋田市立中央図書館明徳館、にぎわい交流館AU、秋田市文化創造館を巡るスタンプラリーマップを作成。それぞれ利用者が異なる各館の特性を活かし、各施設に訪れた人が隣の施設にも足を運びきっかけとなるよう、4つの施設の紹介に加え、四季折々の千秋公園や周辺を巡り楽しんでもらえるマップも掲載しました。



発行：あきた芸術劇場ミルハス、秋田市文化創造館
デザイン：いしころ合同会社 発行日：2024年2月24日



カフェ・ショップ ○ HAJIMARU

2023年春オープン。手に取ると、そのものが生まれた場所の風土やつくり手の思いが伝わってくる、こだわりの商品を扱うお店が集っています。また、ちいさなマルシェイベント「ハジマルシェ」や、季節や生活文化を体験するワークショップなども開催しています。「ひびきあう本棚」は、秋田県内の書店、リトルプレス、文化人・アーティストらが7つの棚を一つずつ受け持つ「店主」となり、思い思いのテーマで選書しています。



出店者 (2024年2月現在)

マザー食堂savu.(秋田市 | BAKE & 食料品) / 民芸パパー(秋田市 | 器) / PLAY&TOYSのはらむら(秋田市 | 玩具) / blank+(秋田市 | 生活雑貨) / 佐藤勘六商店(にかほ市 | いちじく甘露煮・グッズ) / お菓子のくらた(湯沢市 | 和菓子) / ガイアガーデン(秋田市 | 野菜) / PDA BAGS(秋田市 | バッグ)

ひびきあう本棚 選書者

すく(北秋田市 | 本屋的活動) / 高橋秀晴(秋田県立大学副学長) / 天藍舎(仙北市 | 書籍商) / 乃帆書房(秋田市 | 書店) / hanauta(秋田市 | 音楽) / ものかたり(五城目町 | アートスペース) / ユカリロ(秋田市 | リトルプレス)

「豆腐百景」

秋田県産大豆「りゅうほう」を使用したお豆腐と、バラエティ豊かなお豆腐メニューで大人気の「豆腐百景」。久保田城の「与次郎狐伝説」にちなんで名づけられた、丸い油揚げ「よじろあげ」や、お店で作る「できたてよせ豆腐」、お豆腐スイーツが楽しめます。



全国各地の文化施設との交流

創造館は県内外の団体・個人からの視察を受け入れ、随時案内しています。時には施設運営方法の課題解決や企画力向上のために、類似する文化施設等との情報交換も行っています。

2021年より交流・協力のための締結を結ぶデザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) とは今年度も交流を継続しています。

視察いただいた団体からのコメント

SCARTSは2023年10月に開館5周年を迎えました。今後の活動を考えるために、他の町のアートセンターのことも知りたくて、「北日本アートセンターミーティング」に芦立さんをお招きし、交流がスタート。その後、お二人のスタッフを研修で札幌にお迎えしました。研修というより悩みを分かち合う時間でしたが、一緒にこれからの考え、知恵を共有できる仲間ができたこと、とても嬉しく心強く思っています。

札幌文化芸術交流センター SCARTS キュレーター 樋泉 綾子



情報交換会の様子

【2023年度 視察受け入れ団体】

秋田市広報広聴課、秋田公立美術大学附属高等学院、一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所、公立大学法人 国際教養大学、札幌文化芸術交流センター SCARTS、特定非営利活動法人ソーシャルデザインワークス、長野県文化振興事業団アーツカウンシル推進局、弘前れんが倉庫美術館、文化庁、デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)、NPO法人アートNPOリンク など

PARK - いきるとつくるのにわ / Public, Arts & Research Kitchen



2022年にスタートし、秋田に暮らす人々やクリエイター、専門家が交わり多様な活動を展開するプロジェクト「PARK - いきるとつくるのにわ」。秋田市文化創造館を拠点とした4つのプログラムを通して、人や出来事が出会い、創造的な活動の種が育まれ、表現や創造性に満ちた瞬間となって実を結び、文化の種となって街に環っていく、そのように秋田の文化的土壌をたがやしていくを試みます。 ※本事業は、秋田市「文化創造プロジェクト」の一環として実施しています。

今年度プロジェクト期間 | 2023年4月～2024年3月

主催：秋田市 / 企画・制作：NPO 法人アーツセンターあきた / 令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

PARK
プロジェクト
概要▶



「育む」プロジェクトで野菜を育てるための土づくり



観察する

つくることを日々実践し、日常の暮らしをユニークな視点で観察しつづける県内外の3組のクリエイターを招き、秋田市中心市街地を拠点としたリサーチと作品制作（プロジェクト）を行います。



出会う

私たちに身近な食や農業、生活、表現をテーマとした全5回のトーク&ワークショップを実施し、頭と身体の両方を使いながら新しい知識や技術と出会います。



育む

野菜栽培や観察に取り組みながら、食と結びつく様々なテーマについて学び合います。専門家やプロジェクトメンバーと関わり活動することを通して、感性と知性を刺激し、一人ひとりの「生きる」に役立つ力を育みます。



残す

「観察する」「出会う」「育む」の取り組みを、クリエイターやイベントゲスト、プロジェクトメンバー、秋田市文化創造館を訪れた人など様々な人たちの目線で記録し、創造館内やウェブサイトにて公開します。

展覧会「交わるにわ、創造するキッチン」



「観察する」3組のクリエイター、アウトク롭、身体0ベース運用法／安藤隆一郎、わいないきょうこによるこれまでのリサーチの過程と作品発表を行うほか、各プログラムの成果や知恵をつなぐ場をひらきました。会場の中央には様々なお茶やハーブをブレンドして楽しむコーナーがあり、自由にくつろぐ方も。会期中にはトークやワークショップを多数開催したほか、スピノフ企画も生まれました。

会期 | 2024年1月20日(土)～2月4日(日) 会場 | 秋田市文化創造館 ほか

協賛：秋田プライウッド株式会社



アウトク롭



わいないきょうこ



身体0ベース運用法/安藤 隆一郎



じぶんの味わい方を「育む」



本と「出会う」(秋田市立中央図書館明徳館 連携)



「育む」メンバーによる煮る会

観察する

アウトクロープ/この町、シネマ。



「見えない物語を魅せる」をスローガンに映像制作やシネマ運営を行うアウトクロープ・スタジオが、映画を語る空間を秋田市に復活させるプロジェクト「この町、シネマ。」を実施。秋田に暮らす様々な人たちの声や「この町」に残る記憶を辿りながら、「この町」と「映画」にまつわる新たなドキュメンタリー映像『おかえり有楽町』を制作、発表しました。展示期間中は会場内で上映会を行ったほか、AL☆VEシアターでの上映後には国際交流基金映像事業部の玄田悠大さんをお招きしてトークを行いました。

わいなきょうこ/かならずやおいしいノ定点観測

Yes! It's will be fu○○ing delicious!! Our way of observation



美郷町を拠点に活動するデザイナーのわいなきょうこが、世界の多様な食文化と秋田の風土が生み出す先人の知恵を掛け合わせながら、雪国の食材貯蔵技術である「雪室」を制作。雪室の構造や気象、食材などの視点で勉強会を重ね、千秋公園内に実際に設置し、保存食の制作を市民と共に試行しました。展示会最終週にはその雪室を開封し、多くの方々と熟成された食材の味を楽しみました。

身体0ベース運用法/安藤 隆一郎/山のホームセンター木の岐編



「ものづくりの視点」から「もの」との関わりによって生まれる身体感覚、運動機能を「0」から見直す安藤隆一郎のプロジェクト。年に数回秋田を訪問し、自ら森に入って道具作りの素材集めをしながら、自然物を用いた民具や農具などをリサーチ。二股以上に分かれた木の枝で作られる「木の岐(きのまた)」と呼ばれる民具をヒントに新しい道具を制作し、自然との関わり方を提示しました。展示期間中には市民が木の岐をつくるワークショップを開催し、最終的に安藤オリジナルの焼印を施す「仕上げの会」を実施しました。

出会う

PARK的・五感で味わう 秋田の秋 - 視・聴・嗅(きゅう)・味・触 -

日時 | 9月18日(月) 14:00~16:00

登壇者 | 手塚 美希(紫波町図書館 主任司書)、わいなきょうこ(デザイナー/やぶ前)

「味わうこと」とは何かをひもとくために、様々な試み(パッケージ(視) / 朗読(聴) / 醤油(嗅) / 温度(味) / 器(触))を通して自らの“センサー”を試し、皆さんと「おいしい」を探りました。



「この町、シネマ。」映画サミット

日時 | 10月22日(日) 14:00~16:30

登壇者 | シネマ・デ・アエル(岩手県宮古市)、御成座(秋田県大館市)、アウトクロープ

全国で映画館が減って行く中、創業・再建し地域に根付いた運営を行う東北のミニシアター3組が集まり、それぞれのシアターの取り組み紹介や現代における映画館のあり方について観客も交えたディスカッションを行いました。



ほったらかしを活かす技術 ~放置された柿の活用法から学ぶ~

日時 | 10月8日(日) 14:00~16:00

登壇者 | 柿木 崇誌(畑がない農家)、藤 浩志(美術家 / 秋田市文化創造館館長)

放置された物の利活用を考えるトークイベントを開催。イベント後は市内の方から提供された放置柿を干し柿へと活用するワークショップを実施し、手を動かしながら“活用する”ことへの理解を深める機会となりました。



山のホームセンター入門編~素材採集の土産~

日時 | 10月28日(土) 14:00~16:00

登壇者 | 吉田 勝信(デザイナー)、安藤 隆一郎(染色作家)

素材から色やテクスチャーなどを作り出すデザイナーの吉田勝信さんと安藤隆一郎さんが素材採集することの面白さや、採集する際に得られる副産物とは何かを探るトークを行いました。



育む

野菜栽培

土作りにこだわった野菜栽培を実践する農家「ガイアガーデン」さんを講師にお迎えし、トマトやナスのプランター栽培とキュウリ、ゴーヤのグリーンカーテン作りを土作りから体を動かしながら学び、収穫、調理を行いました。



草木染め

マルシェ出店

生業を起こす、表現を編む

日時 | 1月27日(土) 14:00~16:30

登壇者 | 山下 陽光(途中でやめる)、蛇谷 りえ(うかぶLLC)、佐々木 大地(DPARTMENT SKATESHOP PARK)、服部浩之(キュレーター)

特色ある仕事を創造し、暮らしを立て、活動を続けている、3者によるトークと交流会を開催。多様な仕事の作り方・始め方に触れる機会となりました。



残す



「育む」レシピづくり



各種レポート作成



「育む」観察日誌



Instagram運用

秋田市文化創造館 2023年度 事業評価

様々な公共施設や文化事業等の評価に携わる大澤寅雄さんに、3組の方へヒアリング調査をしていただき、そこから見えてくる創造館の成果と課題をまとめていただきました。

創造館の開館から3年目となる2023年度の運営と事業を総括する

事業の実績から、貸館の実施件数が2024年1月時点で762件。2023年度を残り2ヶ月残しているが、開館初年度の2021年度(304件)の2.5倍を超えている。過去3年間での新規利用登録者数も毎年100件を超える順調な伸びを見せており、2023年度の来館者数が、残り2か月を仮に前年度ベースの来館者数として試算すれば、前年度を上回り年間13万人を超えることになる。開館から3年間の累計来館者数は約34万人、その人数規模は秋田市の人口約30万人を上回るようになる。基本方針の一つである「空間の提供」での実績が着実に伸びて結果を出していることが分かる。

今年度、ヒアリング調査では「空間の提供」、「創造支援事業」、「地域連携」に関わった3人に話を伺ったが、いずれも文化創造館の空間の魅力、施設利用の柔軟性、スタッフの専門性の高さに伴走支援を高く評価する意見が聞かれた。また、基本方針の中でも「地域連携」に関しては、具体的に隣接するあきた芸術劇場ミルハスと企画から実施に至るまでの綿密な協働で実現したイベントなど、文化施設同士での連携には成果が見られた。その一方、商業施設との連携となると動きが活発とは言えず、今後の地域連携では「文化」と「商業」の関わりが課題だと言える。

2023年度の事業報告では、アーティスト・イン・レジデンス(AIR)に関する問い合わせが国内外から寄せられているとの説明があった。日本におけるAIRは2000年代から急増し、近年では日本での滞在を希望する海外アーティストが自ら財源を用意して訪れることは珍しくなく、日本滞在中に複数箇所を移動して滞在するケースも見られる。そもそもAIRは、美術館や劇場のような作品の公開と鑑賞のための場よりも、むしろ創造や創作のプロセスを市民に開く文化創造館のような場の方が意義を発揮できる取組である。

またAIRは、秋田独自の文化資源、天然資源、歴史習俗は海外のクリエイターにとっても強烈に魅力的であり、秋田公立美術大学や国際教養大学といった高等教育との連携、あるいは木材・木製品、製紙・パルプ製造などの地場産業との連携のフックとしても考えられる。加えて、文化創造館の存在感を地域に示し、国内外に情報を発信するトリガーとなり得る。そのため、国内のみならず海外のクリエイターにも目を向けたAIRを、今後の事業の一つの可能性として期待したい。

以上のような成果や今後の期待の一方で、課題を挙げるとすれば、文化創造館が持つ独自性や新奇性が、文化に関心が薄い市民に対しては「わかりにくい」という見方につながるのだ。実際のところ、施設や活動は地域に開かれているのだが、足を運んだことのない人々にとっては文化創造館と自身との関わりがイメージしにくいために「入りにくい、敷居が高い」と思われていないだろうか。また、言葉で説明することが難しい企画が「わかる人にわかればいい」というオタク的、あるいはエリート的に見えていないだろうか。だがしかし、「わかりやすい」事業や「誰にでもわかる」企画に転換すればいいのかと言えば、おそらくそうではない。「わかるーわからぬ」ではなく、「伝わるー伝わらない」という軸が重要なのだ。きっと「何だかよくわからない、けれども、何かが伝わってくる」という伝え方の作法や技術を開発できるのではないかな。

こうした文化創造館の課題は、視野を広げると、近年の我が国の文化政策にも言えることだろう。ともすると「わかるーわからない」という軸で評価されて「わかりにくさ」を回避する。そうではなく「わからない」ことに向き合うことで対話が生まれ、多様な価値観を尊重し、文化の多様性の土壌が育まれるのだ。その対話の場を作り、対話に参加してもらうためにも、丁寧に、真摯に、相手に応じた伝え方が必要とされている。

大澤 寅雄 (NPO法人アートNPOリンク理事長／合同会社文化コモンズ研究所代表)

秋田市文化創造館 外部評価委員会

新しい活動や価値を生み出していくことを基本理念に据える創造館では、既存の数値的な評価指標のみでは測りきれない成果が生まれていると実感しています。県内外の文化芸術、まちづくり、教育等の多様な分野の専門家を招き、創造館の成果や課題について議論を蓄積する場として、昨年度に引き続き委員会を開催し、委員の方々から多様な評価をいただきました。

第二回 外部評価委員会開催 開催日：2024年2月23日(金)

委員メンバー：上松 留美(ハルappaAFTER SCHOOL 代表)、小倉 拓也(秋田大学教育文化学部 准教授)、
工藤 尚悟(国際教養大学 准教授)、林 千晶(株式会社Q0 代表取締役社長)、
三浦 崇暢(秋田市仲小路振興会 副会長)、山本 麻友美(京都芸術センター 副館長)

事業評価外部委託：NPO法人アートNPOリンク(出席者：理事長 大澤 寅雄)



上松 留美 (ハルappaAFTER SCHOOL 代表)

創造館で開催するイベントの集客が、内容にもよるが偏りが大きいと聞くので、宣伝・広報の改善は必要。アーティストが表現する場であるだけでなく、それを見に来る人たちに向けて何かアプローチができないか。好奇心の種をたくさん撒いている一方で、秋田の人は「知っていること」には参加するが、そうではないものには躊躇する傾向があるように思う。館に来ると同じような顔ぶれを見かけることが多い。より開いていくために、スタッフが視野をもっと広げられるようになるとより良いと思う。

小倉 拓也 (秋田大学教育文化学部 准教授)

自身が利用者として感じたのは、スタッフが「至れり尽くせり」な対応をしてくれること。一方で、スタッフが属人的な働き方になっているという話があった。それは利用者側からするとスタッフの「当たりはずれ」の可能性があると感じてしまうということ。そうならないために、担当スタッフが他のスタッフに相談できる体制整備や、2人1組で対応する等、工夫が必要。属人性を打破して技術・ノウハウをチームで継承するのは、日々の業務で培われていくものなので、スタッフの任期なども含め、それぞれが展望をもって働ける環境と計画性が必要。また、創造館の「文化」は現状アートに偏っていると感じる。格好いいチラシは、市民目線からするとハードルを上げてしまうことも認識が必要。

工藤 尚悟 (国際教養大学 准教授)

美術館はできあがったものを見るところ。創造館はつくっているところに加わるところ。創造館の尖っている要素は、利用者が「つくっているところ」に自然と含まれてしまう環境と運営スタイル。この点に外部からの注目が高まっている。しかし、現状では内側と外側からの創造館の見え方に大きなズレがあると思う。創造館を頻繁に利用する人たちや文化施設の運営に関心のある人たちにとって魅力として写っているものと、新聞等の報道を介して創造館を知っている人の理解の間に差異があるのではないかな。この点は、ウェブや視察受け入れ、県外での講演などの発信に戦略性を持たせることで、解消されうると感じた。

林 千晶 (株式会社Q0 代表取締役社長)

創造館は、何が特徴なんだろうと考えている。何がどう特別なのか。それを考えたときに、「公共施設と美術館の間」に位置するところの面白さが一番当てはまる。従来の美術館よりは開こうとしているが、一般的な公共施設のように開きすぎでない。その間にあるものはアートも生活も含まれた「文化」。そのバランスが面白いのでは。一方で広報は課題。特に「CRM*」に力を入れなくてはならない。誰に何を届けるかを考えていくべき。専門家ではなくても、担当をつけてやってみれば必ず改善する。 *Customer Relationship Management

三浦 崇暢 (秋田市仲小路振興会 副会長)

創造館も周辺商店街との連携を計画しているようだが、創造館のようなエッジの効いた事業について、商店街と折り合いをつけられるか懸念はある。結果、よくある企画になっても、何をしようかと話し合いながら生み出していく過程が重要だと感じる。また、仕事のできるスタッフに業務が集中しすぎないように、ノウハウを継承できる情報共有の体制構築は必要。

山本 麻友美 (京都芸術センター 副館長)

京都芸術センターはアーティストの滞在制作事業を行っているが、宿泊施設を持っていない。欲しいとも思うが、無いから別の場所を借りることで、他者とのつながりができることを良いことだと思っている。スタッフは書類作成や情報共有、コンプライアンスについては最低限皆ができるレベルを維持したいところだが、それ以外の個性は館にとっても良い「特徴」となる。病気・妊娠・介護等で急遽不在になる場合、どうやって皆でフォローし合うか。日常的にそういう可能性を意識していだけで変わる。創造館をより開いていく方法について、地域の方、利用者の方と一緒に考える事業が一つでもあると理解が進むだろう。年に1日だけでも毎年同じ時期に実施すると定着する。参加しやすい簡単な作業でいいので「手伝ってください」と声をかけるだけでも変わっていくのでは。

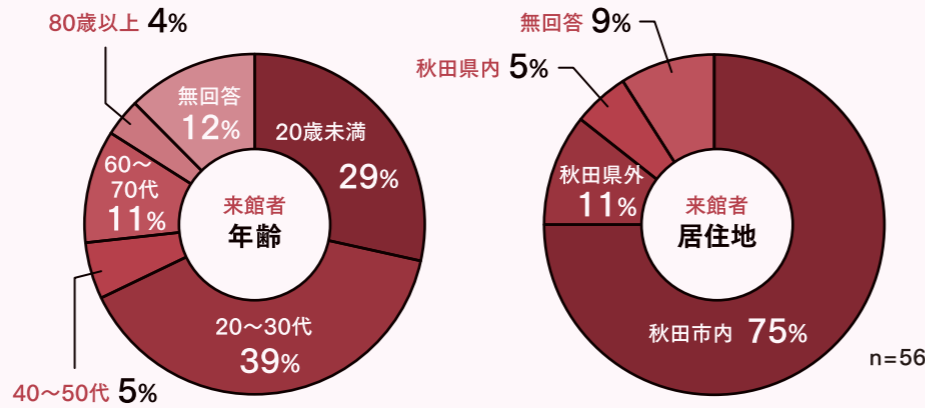
アンケート調査

創造館の運営や事業を検証するために、施設への来館者、利用者、及び主催事業のイベント参加者に対するアンケート調査を通年で行っています。

来館者からの声

●地域の人がゆっくりとリラックスできるような空間や、地域の人がやりたいことを実現する事の施設であると知った。1人では実現させることが難しくても、施設の方と相談などをして、その人に合った形を提供してくれるのはとてもうれしかった。

●「そうぞうの木」のような自由な描画スペースみたいな場所があると何かアイデアが浮かび易くなる気がする。



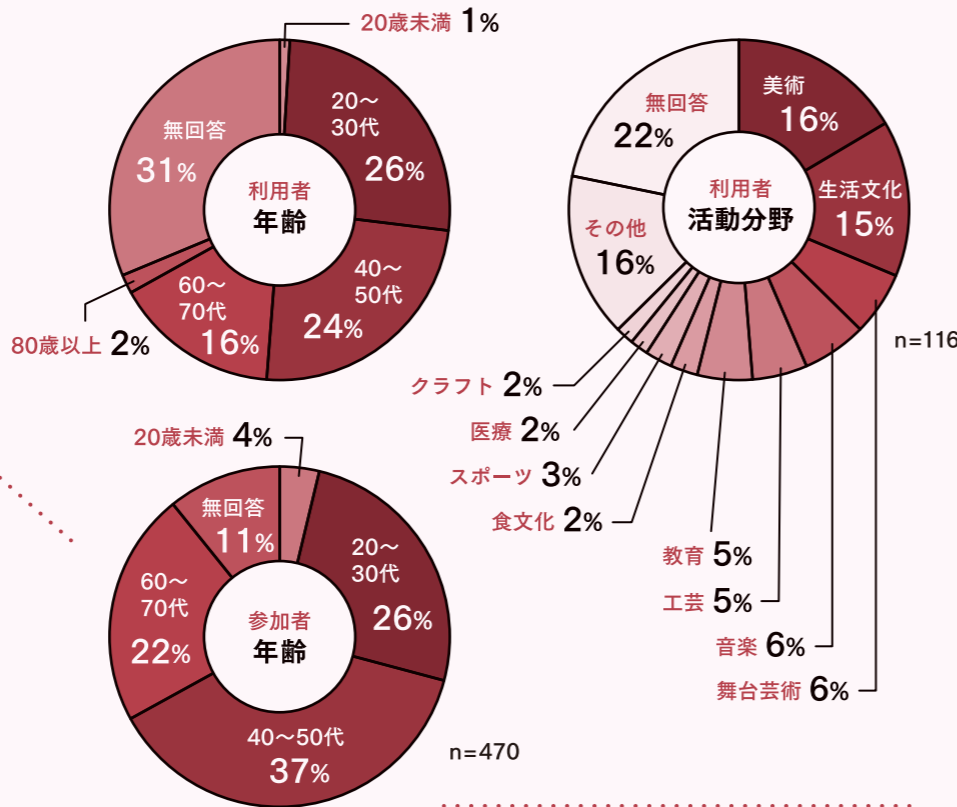
利用者からの声

●事前の準備段階から、何度も相談にのっていただき、こちらの要望にも答えてもらってとても助かりました。

●展示した生徒たちは達成感を感じ、充実した表情をしていました。

●1㎡単位で借りられるので実際色々やれている考えることができありがとうございます。

●人と人が出会い、新たな体験や想いが生まれるステキな場所を作って頂きありがとうございます。

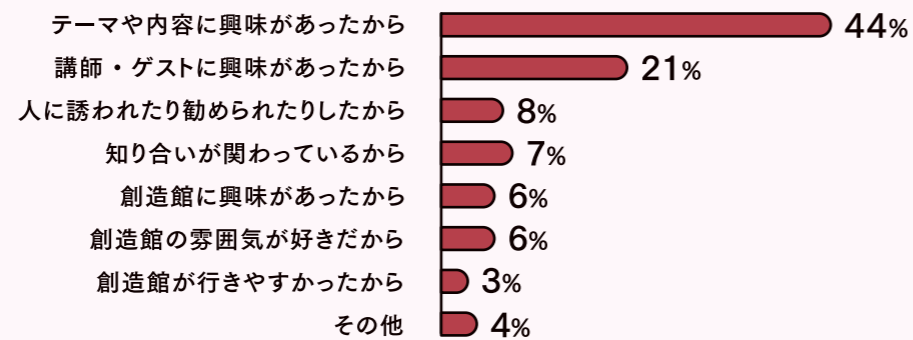


参加者からの声

●同じ空間で参加者同士、想いを共有できたと思った。忘れかけていた秋田の魅力に気づかされて、満足です。かたすぎない空気感が好きでした。

●地方暮らしの魅力を感じつつ、これからどこでどんな風に生きていくかを考える日々の中で、ヒントになる内容でした。

●初めて参加したからかむずかしく感じた。

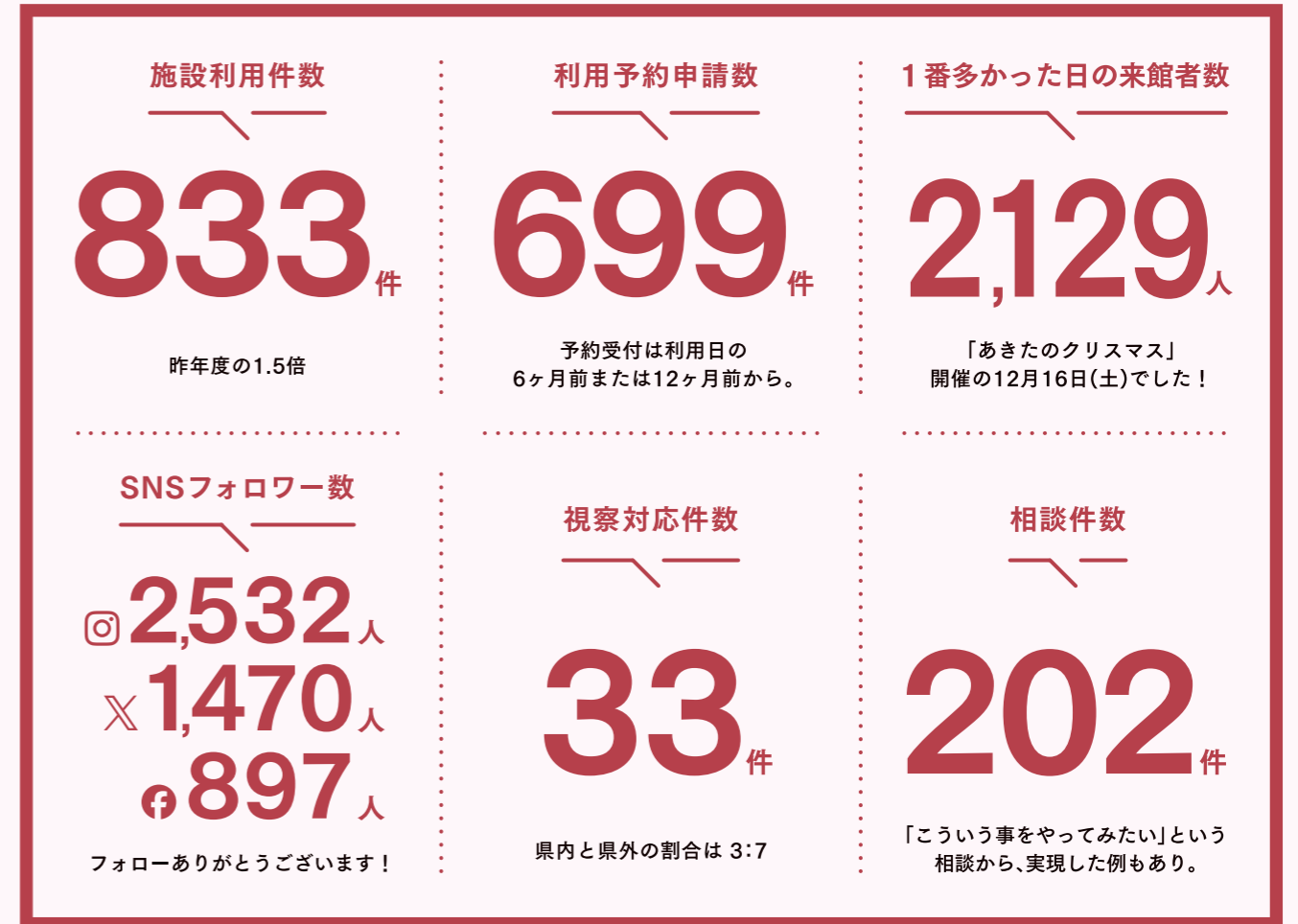


参加者がイベントに参加した動機 (複数回答)

数字で見る秋田市文化創造館

創造館ってどんな場所!? 数字と共に1年を振り返ってみました。

(※2024年2月末日時点)



DOCOMOMO Japan / 秋田市文化創造館が「日本におけるモダン・ムーブメントの建築280選」に選定

モダン・ムーブメントにかかわる建築と環境形成の記録調査および保存を担う国際組織DOCOMOMO(ドコモモ)の日本支部が、2023年6月7日に公表した「日本におけるモダン・ムーブメントの建築280選」に秋田市文化創造館の建物が選定されました。建築物としての構成や、屋根形状がランドマークとして親しまれていること、歴史的背景、再整備され中心市街地で活用されていることなどを評価いただきました。



ドコモモのお二人(右から香川 浩さん、大宮司 勝弘さん)より選定プレートをいただきました



建物について

秋田市文化創造館の建物は、1967年に秋田県立美術館として秋田市中心市街地の久保田城跡・千秋公園のお堀近く建設されました。独特な形状の屋根と円い窓は、藤田嗣治の大壁画「秋田の行事」を展示するため藤田の助言により大空間に光が降り注ぐよう設計されました。

写真:(株)みどり光学社所蔵

秋田市文化創造館 指定管理事業 全イベントリスト (2023年4月1日～2024年3月実施)

主催事業

開催日・期間	イベントタイトル	会場
4/9(日)	「そうぞうの木会議」第1回	コミュニティスペース
4/10(月)	カタルバー 1日店主 編み物silky	コミュニティスペース
4/15(土)、5/5(金)、10/8(日)	カタルバー 文化創造館スタッフの1日店主	屋外デッキ
4/16(日)、4/19(水) 5/4(木)、6/15(水)	フリーキッチンの日	コミュニティスペース
4/20(木)	カタルバー 1日店主 街パシャ! Kazu	2Fカウンター
4/22(土)	カタルバー 1日店主 あおいすがやん	2Fカウンター
4/22(土)	カタルバー 1日店主 兎玉キミ子	コミュニティスペース
4/22(土)	カタルバー 1日店主 よりみちこみち・ふっち	2Fカウンター
4/26(水)	カタルバー 1日店主 キャサリン	2Fカウンター
4/29(土)	ゴザ活 -日常を豊かにするみんなのステージ-	屋外
4/29(土)	音の日 -音にまつわる活動のための施設無料開放日-	コミュニティスペース 屋外、デッキ、スタジオA
5/1(月)～7(日)	オープンスタジオ	スタジオA1
5/3(水)～24(水)	秋田市文化創造館のあゆみ展示	スタジオA3
5/4(木)	フリーキッチンの日	コミュニティスペース
5/6(土)	リソ倶楽部ミーティング	コミュニティスペース
5/10(水)	カタルバー 1日店主 すかい	2Fカウンター
5/10(水)	リソ倶楽部ミーティング	コミュニティスペース
5/13(土)	カタルバー 1日店主 ケロびよんズ	コミュニティスペース
5/13(土)	カタルバー 1日店主 よりみちこみち・ふっち	2Fカウンター
5/19(金)	カタルバー 1日店主 ボン酢太郎&敦&ひがし	コミュニティスペース
5/20(土)	未来の生活を考えるスクール 第11回「病と折り」	スタジオA1
5/24(水)	カタルバー 1日店主 キャサリン	2Fカウンター・ホール
6/3(土)	カタルバー 1日店主 真坂雅	コミュニティスペース
6/3(土)	カタルバー 1日店主 ディーラーせい●せい	2Fホール
6/4(日)	出張カタルバー in 旧松倉家住宅	旧松倉家住宅
6/5(月)	カタルバー 1日店主 みぼりん	2Fカウンター
6/7(水)	カタルバー 1日店主 カズシ	2Fカウンター
6/11(日)	カタルバー 1日店主 早川昭	2Fホール
6/11(日)	カタルバー 1日店主 大谷に目が点	コミュニティスペース
6/12(月)	カタルバー 1日店主 さくらの	2Fカウンター
6/12(月)	カタルバー 1日店主 交点	コミュニティスペース
6/16(金)	カタルバー 1日店主 シネマテークかめきち	2Fホール
6/17(土)	未来の生活を考えるスクール 第12回「障害とまちづくりと表現」	コミュニティスペース
6/18(日)	カタルバー 1日店主 しゅうすけ	コミュニティスペース
6/21(水)	カタルバー 1日店主 鑑太	2階バルコニー
6/28(水)	カタルバー 1日店主 キャサリン	デッキ
6/28(水)	カタルバー 1日店主 藤キング	屋外
7/1(土)	カタルバー 1日店主 ヴァンパイアささき	屋外
7/7(金)	カタルバー 1日店主 ヴァンパイアささき	屋外
7/12(水)	カタルバー 1日店主 エリザベス	デッキ
7/22(土)	カタルバー 1日店主 カズシ	デッキ
7/22(土)	カタルバー 1日店主 きみこ	デッキ
7/22(土)	ヨルカツ「カタルバー的なヨルカツって何？」	屋外
7/23(日)	カタルバー 1日店主 ケロびよんズ	屋外
7/26(水)	ヨルカツ「スケボー解放日」	屋外
8/7(月)	ヨルカツ「トーキョーコーヒー秋田夕涼み会」	屋外
8/10(水)	ヨルカツ「大正寺おけさ踊り体験会」	屋外
8/11(金)	ヨルカツ「スケボー解放日」	屋外
8/11(金)	ヨルカツ あきたボールウォーキングクラブ一周年特別企画「Night Pole Walking」	屋外
8/19(土)～11/3(金)	秋田市文化創造館のあゆみ展示	スタジオA3
8/19(土)、9/17(日)	未来の生活を考えるスクール 第13回 / 第14回「アニマルズ、ヒューマンズ、アスレチック」	スタジオB スタジオA1
8/24(木)	カタルバー 1日店主 すく 加藤大雅	2Fカウンター
8/25(金)	第1回 リソグラフィ体験会	コミュニティスペース
8/25(金)	カタルバー 1日店主 さくらの	2Fカウンター
8/26(土)	ヨルカツ「スケボー解放日」	屋外
8/26(土)	カタルバー 1日店主 赤茄子	コミュニティスペース
8/31(木)	ヨルカツ「AKITA "KARA"「焚～」	屋外
9/3(日)	カタルバー 1日店主 Kikumaru	コミュニティスペース
9/8(金)	カタルバー 1日店主 have a blast	コミュニティスペース
9/9(土)	カタルバー 1日店主 赤茄子	コミュニティスペース
9/9(土)	出張カタルバー in 遊学舎	遊学舎
9/10(日)	「～になるためのトライアル」キックオフミーティング	コミュニティスペース
9/11(月)	カタルバー 1日店主 なっちゃん	2Fホール
9/15(金)、9/16(土)、9/17(日)	カタルバー 1日店主 HITOMI/秋田甘酒愛好家	コミュニティスペース
9/18(月)	カタルバー 1日店主 ケロびよんズ	コミュニティスペース
9/21(木)	カタルバー 1日店主 國重咲季	コミュニティスペース

開催日・期間	イベントタイトル	会場
9/22(金)	カタルバー 1日店主 シネマテークかめきち	コミュニティスペース
9/23(土)	カタルバー 1日店主 赤茄子	コミュニティスペース
9/23(土)	ヨルカツ「スケボー解放日」	屋外
9/23(土)	第2回 リソグラフィ体験会	コミュニティスペース
9/24(日)	ヨルカツ「雪の読書会」	屋外
10/7(土)	カタルバー 1日店主 ササキ	コミュニティスペース
10/11(水)	カタルバー 1日店主 げんちゃん	2Fホール
10/14(土)	出張カタルバー：エキマエ、はじまる。さんど市	秋田駅西口駅前広場
10/15(日)	「～になるためのトライアル」トライアルのためのミーティング	スタジオA1
10/15(日)	カタルバー 1日店主 Kikumaru	2Fホール
10/18(水)	カタルバー 1日店主 モンテッソーリ教師 きよのゆきや	コミュニティスペース
10/21(土)	第3回 リソグラフィ体験会	コミュニティスペース
10/21(土)	カタルバー 1日店主 エイ君	コミュニティスペース
10/27(金)	カタルバー 1日店主 JICA秋田デスク 舩屋彩子	コミュニティスペース
11/3(金)	カタルバー 1日店主 佐々木	コミュニティスペース
11/4(土)	たいけん美じゅつ場 VIVA オンラインレクチャー上映	コミュニティスペース
11/9(木)	カタルバー 1日店主 げんちゃん	2Fカウンター・ホール
11/12(日)	カタルバー 1日店主 ゆりてまり	2Fカウンター・ホール
11/15(水)	カタルバー 1日店主 AKITA "KARA"	コミュニティスペース
11/17(金)	「～になるためのトライアル」トライアルのための準備会	コミュニティスペース
11/18(土)	カタルバー 1日店主 ナカモケイテン	2Fカウンター・ホール
11/18(土)	「～になるためのトライアル」トライアル①～④ 「なりたいたいタイガー／やめたいタートル」	コミュニティスペース スタジオA
11/22(水)	カタルバー 1日店主 シネマテークかめきち	2Fカウンター・ホール
11/24(金)	カタルバー 1日店主 JICA秋田デスク 舩屋彩子	2Fカウンター
11/26(日)	カタルバー 1日店主 モンテッソーリ教師 きよの	2Fカウンター・ホール
11/26(日)	カタルバー 1日店主 あおこ	2Fカウンター・ホール
11/27(月)	カタルバー 1日店主 コダマ農場長老	2Fカウンター・ホール
12/3(日)	カタルバー 1日店主 ささき	コミュニティスペース
12/3(日)	「～になるためのトライアル」トライアル⑤	コミュニティスペース
12/4(月)	「いろいろな料理をつくれるようになりたい」献立会議	屋外
12/4(月)	ヨルカツスペシャル「焚き火を囲んでカタル」	屋外
12/6(水)	「～になるためのトライアル」トライアル⑥	コミュニティスペース
12/6(水)	「いろいろな料理をつくれるようになりたい」献立会議	コミュニティスペース
12/7(木)、12/14(木)、1/5(金)、1/27(土)、 2/4(日)、2/28(水)、2/29(木)、3/1(金)、3/2(土)、 3/3(日)、3/6(水)、3/7(木)、3/8(金)、3/9(土)、 3/13(水)～15(金)、3/20(水)～22(金)	リソの日	コミュニティスペース
12/8(金)	カタルバー 1日店主 さくらの	コミュニティスペース
12/9(土)	カタルバー 1日店主 赤茄子	コミュニティスペース
12/9(土)	カタルバー 1日店主 カズシ	コミュニティスペース
12/10(日)	カタルバー 1日店主 網ふたろ	2Fカウンター・ホール
12/11(月)	カタルバー 1日店主 げんちゃん	2Fカウンター・ホール
12/13(水)	カタルバー 1日店主 モンテッソーリ教師 きよのゆきや	コミュニティスペース
12/15(金)	カタルバー 1日店主 國重咲季	2Fカウンター
12/16(土)	カタルバー 1日店主 あきたのクリスマス	コミュニティスペース
12/18(月)	カタルバー 1日店主 しょーち	コミュニティスペース
12/20(水)	「～になるためのトライアル」トライアル⑥	コミュニティスペース
12/20(水)	「いろいろな料理をつくれるようになりたい」～になるための料理会」	コミュニティスペース
12/20(水)	カタルバー 1日店主 けいた	コミュニティスペース
12/24(日)	カタルバー 1日店主 ささき	コミュニティスペース
1/10(水)	「～になるためのトライアル」トライアル⑥	コミュニティスペース
1/10(水)	「いろいろな料理をつくれるようになりたい」～になるための料理会」	コミュニティスペース
1/10(水)	カタルバー 1日店主 1nで何しよう？プロジェクトの中の人	コミュニティスペース
1/14(土)	石川直樹 × 伊藤俊治 クロストーク「まれびと／風土／日本海」	コミュニティスペース
1/15(日)	カタルバー 1日店主 佐々木ときよ	2Fカウンター・ホール
1/18(木)	出張カタルバー in 斜向かいのアトリエ	斜向かいのアトリエ
1/20(土)	第4回 リソグラフィ体験会	コミュニティスペース
1/20(土)	カタルバー 1日店主 カズシ	2Fカウンター・ホール
1/20(土)	カタルバー 1日店主 げんちゃん	2Fカウンター・ホール
1/21(日)	カタルバー 1日店主 しょーち	コミュニティスペース
1/21(日)	カタルバー 1日店主 Tsvi Sadan	コミュニティスペース
1/27(土)	カタルバー 1日店主 ささき	コミュニティスペース
1/28(日)	カタルバー 1日店主 ケロびよんズ	2Fカウンター
1/28(日)	カタルバー 1日店主 しばた	コミュニティスペース
2/2(金)	カタルバー 1日店主 おおしまたくろう	2Fホール
2/4(日)	「うあー」パフォーマンスフェスティバル vol2	スタジオA3
2/10(土)	カタルバー 1日店主 きんぎょ	コミュニティスペース
2/11(日)	「～になるためのトライアル」トライアル⑥	スタジオB
2/11(日)	「読んで書く、1DAYワークショップ 本を通じて自分と出会い直す」	スタジオB
2/11(日)	カタルバー 1日店主 カズシ	2Fカウンター
2/11(日)	カタルバー 1日店主 しばた	2Fカウンター
2/11(日)	チーム「あととた」上演！ 公開練習兼パフォーマンス	コミュニティスペース
2/14(水)	Passespartout Duo Live in Akita	コミュニティスペース
2/22(木)	カタルバー 1日店主 しょーち	2Fカウンター
2/24(土)～25(日)	フリー・オープン・デイ 2024	全館
2/24(土)～25(日)	チャレンジマーケット	コミュニティスペース 2Fホール、スタジオB
2/24(土)	DOCOMOMO Japan 選定記念プレート贈呈式、トーク「いきる建築」	スタジオA1
2/25(日)	チーム「あととた」上演！	ミルハス
2/24(土)～	4館巡るスタンプラリー	その他
3/1(金)	カタルバー 1日店主 しょーち	2Fカウンター
3/2(土)	カタルバー 1日店主 前田かおり・豊島はるか	コミュニティスペース
3/2(土)	カタルバー 1日店主 佐々木&きよの	コミュニティスペース
3/2(土)	カタルバー 1日店主 matsumin	2Fカウンター
3/8(金)	カタルバー 1日店主 秋田市在住 ボードゲーマー	コミュニティスペース
3/9(土)	カタルバー 1日店主 里井	2Fカウンター
3/10(日)	カタルバー 1日店主 カズシ	コミュニティスペース
3/14(木)	カタルバー 1日店主 田中太郎 aka 犬dogg	コミュニティスペース
3/23(土)	認知症回想法と8ミリフィルム「8ミリフィルムに刻まれた家族と街のものがたり」	コミュニティスペース

主催事業

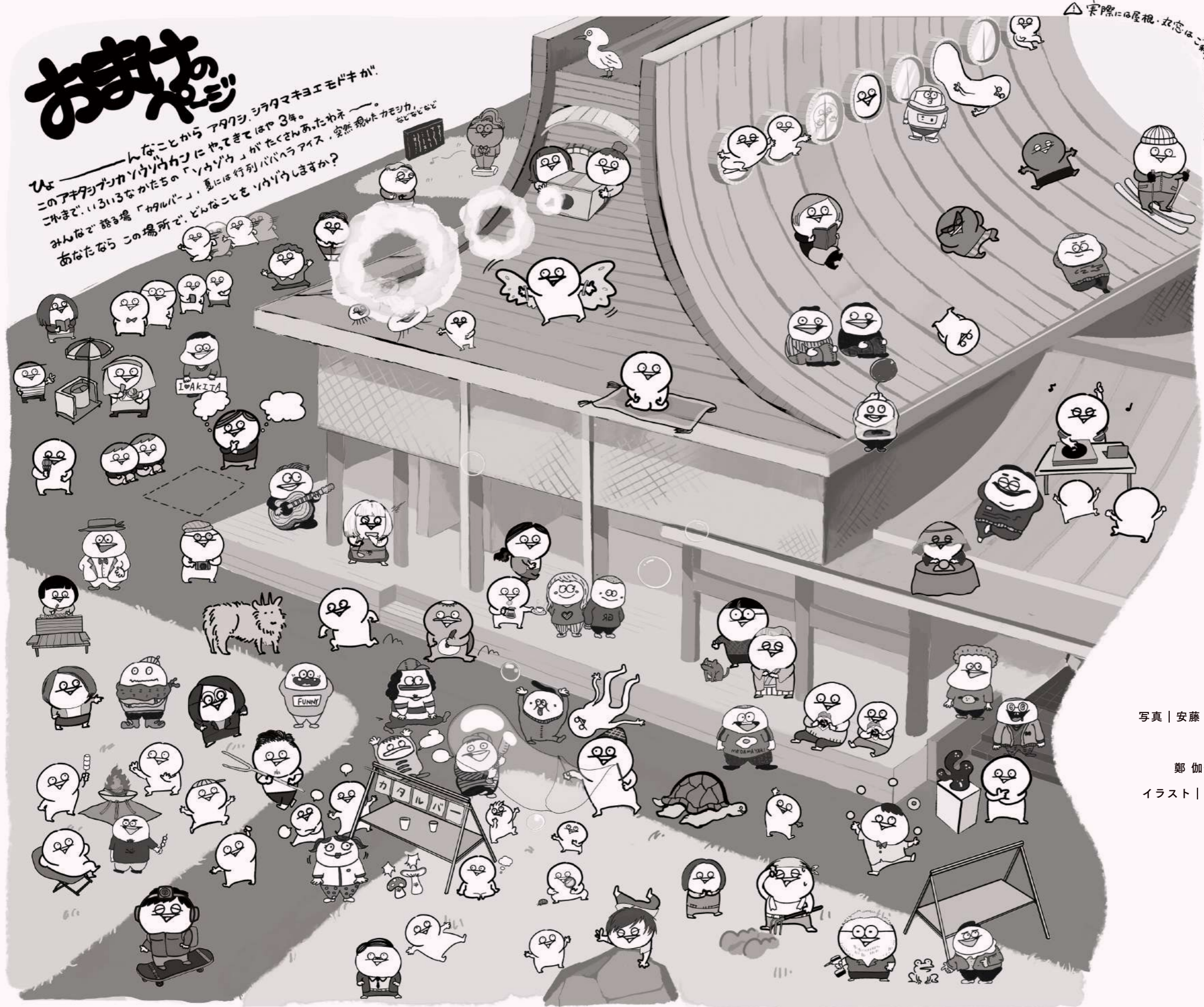
Table with columns: 開催日・期間, イベントタイトル, 主催者, 会場. Contains event listings for various dates and locations.

Table with columns: 開催日・期間, イベントタイトル, 主催者, 会場. Contains event listings for various dates and locations.

お祭り

みんなニヒからアキツ。シラタマキヨエモドキが、
 このアキツのソウキョウにやってくるのは3年。
 これまで、いろいろな「カタルバ」がたかさんあたね
 みんなで語る場「カタルバ」。夏には行列パペラアイス、突然現れたカモシカ、
 あなたならこの場所で、どんなことをソウキョウしますか？

△実際には屋根・柱などはご利用いただけません。



Akita City
Cultural Creation Center

Annual Report 2023

秋田市文化創造館
アニュアルレポート
2023年度

発行日 | 2024年3月

発行元 | 秋田市文化創造館
(指定管理者 | NPO法人アーツセンターあきた)

企画・編集 | 秋田市文化創造館

デザイン | 伊藤 靖史(Creative Peg Works)

写真 | 安藤 陽夏里、伊藤 靖史(Creative Peg Works)、大内 七海
 草薨 裕、小谷 真夕、コンドウダイスケ(アキテッジ)
 坂口 聖英(株式会社アウトクローブ)、高橋 希、田島 陽
 鄭 伽御、星野 慧(五十音順)、ほか秋田市文化創造館スタッフ

イラスト | シラタマキヨエモドキ(P14、P32)、小澤 弘太郎(P32)

印刷 | 株式会社グラフィック

秋田市文化創造館
(指定管理者 | NPO法人アーツセンターあきた)

〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16

TEL | 018-893-5656 FAX | 018-893-5659

e-mail | info@akitacc.jp

https://akitacc.jp